

号や西九州自動車道と接続し、朝夕を中心に交通混雑が発生している大塔ロータリー周辺の渋滞緩和を目的として新規事業化。「国道210号池ノ原橋床版取替」《大分県》は延長0.4km・土砂化やひび割れ等で損傷が著しい橋梁の床版を取り替え、池ノ原橋の安全性・信頼性確保を目的として新規事業化。「北九州港（新門司地区）複合一貫輸送ターミナル整備事業」《福岡県》は、陸・海の物流ネットワークの結節点となっている北九州港新門司地区では、新たな航路が開設予定であることから、岸壁・泊地等の追加整備に新規着手。「博多港（箱崎ふ頭地区）複合一貫輸送ターミナル整備事業」《福岡県》は、箱崎ふ頭地区において、複合一貫輸送ターミナルの整備に新規着手する。

また、建築関係では「天神二丁目南ブロック駅前西街区第一種市街地再開発事業」《福岡県》として、更新期を迎えたビルについて、規制緩和等の活用により、民間活力を最大限に引き出し、耐震性の高い先進的なビルへと建替えるための事業を支援。「志布志港湾合同庁舎および油津港湾合同庁舎」《鹿児島県》は、地域における防災力強化と災害応急対策の活動拠点となる官庁施設が被災した際にも必要な機能を発揮できるよう、電力確保等のための改修を実施する。

一方、補助事業等の県別内訳は「福岡県」1859億8700万円（うち一括配分89億2600万円）、「佐賀県」346億1700万円（同13億1500万円）、「長崎県」686億5300万円（同23億4400万円）、「熊本県」849億1300万円（同29億900万円）、「大分県」735億5700万円（同106億2400万円）、「宮崎県」571億5740万円（同24億4500万円）、「鹿児島県」668億7478万円（同56億4600万円）、「山口県（下関市）」4億6100万円となっている。

[令和8年度九州地方整備局関連予算概要](#)